

(様式第 4 号)

協働推進モデル事業計画書 (本提案用)

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書は A4 サイズ 4 ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人 人・ふれあい・ひろば
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	
提案事業の名称	発達障害等で悩む全ての方に向けた相談座談会等開催事業	
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・発達障害等で悩む方の、精神的安定と、日々の不安を解消する。・支援機関 (医療機関・発達障害者支援センター・こども総合相談所等) への繋がりを促す。・相談したい時に、より身近で相談できる時間と場所を提示し、社会の中で孤立しないよう環境設定をしていく。	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<ol style="list-style-type: none">1. 解決する課題<ul style="list-style-type: none">・発達障害等で悩んでいる方、社会的孤立状況にある方等の状況の改善。・誰にも相談できず、一人で悩んでいる方を、1人でも少なくしていく。2. 市民ニーズ<ul style="list-style-type: none">・悩んだその時に身近で相談できる相手・場所が必要。・支援が必要と敢えて認識しない方も多く、早期に認識を変えていくように促す。・小・中学校において学級崩壊状況になっている現場も見られ、児童生徒及びその親の心の安定は、特に緊急性が高い。・社会参加不全の大人の方も増加しており、社会的にも早急な対応が望まれている。3. 課題解決の方策<ul style="list-style-type: none">・身近で参加しやすい相談場所を提示していく。(休日も含め月 9 回、指定公民館にて定例会とする)・既参加者さんが、悩み始めた方へ声掛けと共に、相談会へ誘っていく。	

協働の必要性
及び効果と目標
(協働の役割分担
を含む)

1. 協働の必要性と相乗効果

- ・発達障害者支援センターは関係機関に対する支援も行っており、また、地域に密着した支援体制を整え、継続的に支援が行えるようサポートをしている。
- ・協働により、発達障害者支援センターの専門職員のレクチャーを当会のメンバーが受け、支援技術をいっそう磨くことにより、その成果を参加者の皆様に広げることができる。
- ・当会から講師等々の派遣により、支援者支援もできてくる。
- ・当会の取り組みは、日常生活の中で、その時々にかかる問題に関して、適宜対応している。
- ・関係者・親のメンタルのサポートを行い、広域に当事者への支援を行っている。安心して相談できる場所として、定例の相談会で対応していく。
- ・行政（発達障害者支援センター等）で、時間的にも空間的にも対応しがたい領域を、協働することにより、其々の活動がより相乗的な効果を発揮でき、市民ニーズにより的確に対応できる。

発達障害等に関する取り組み							
発達障害者支援センター				人・ふれあい・ひろば			
社会環境		個人		社会環境		個人	
関係者	一般	当事者	親	関係者	一般	当事者	親
啓発活動	啓発活動	面談対応	面談支援	常時 相談支援	講演会等	常時 相談支援	常時 相談支援
岡山市全域対応		当事者を中心とした		地域社会対応		主に親を中心とした	
公的機関の連携の元での支援				個人的メンタルサポートと日常支援			
社会的・個人的にも、発達障害者対応の全体的取り組みとなる							

2. 提案団体が果たす役割

- ・「相談座談会」活動を別記のとおり滞りなく実施する。派生する事柄に対しても随時対応していく。
 そのなかで
 ＊日常生活の中での、困り感に満ちた状況を減少していく。
 ＊相談する処があることを認識し、抱え込まないことの必要性を認識してもらう。
- ・発達障害者支援センターによるコンサルテーション等を受けながら、支援技術のいっそうの練磨をはかる。

3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割

- ・市の担当セクション：発達障害者支援センター
 ＊当会実施の相談座談会への同席や、当会支援者に対してのコンサル等によって支援者支援をはかる。

4. 期待する事業成果・目標値等

- ・基本（公民館休館日は休み）月9回、年間100回程度の定例の相談座談会・当会企画講演会等を滞りなく実施することにより、年間概ね2,000人（昨年度実績より）のニーズに対応することにより、周囲環境も整ってくるという波及・相乗効果が望める。
 ＊土曜日の会も実施しているので、働いている方への対応も可能。
 （詳細は事業内容・スケジュールに記載）
 ＊参加人数の増加と共に、市民ニーズにより具体的に答えていくことのできる会としていく。
- ・相談者の方には以下のような状況がみられ、他の人を支援できる人に成長していく。

	<ul style="list-style-type: none">*既参加者が新規参加者の気持ちを思いやり、相互に精神的に助け合うことができるようになる。*悩む親から考える親に成長し、親力・家庭力の向上を目指す。*会員の方が、自分が悩んで終わりではなく、新しく悩み始めた方に、当会への参加を促してくれるという、波及効果が生まれる。・児童生徒の場合、学校と話をする場面も多いが、その場が学校に対する不満の吹き出しになりがちだが、親が、考え方・見方・提示の仕方等々を身に着ける事により、話し合いがスムーズに行われると考える。児童生徒にとっても学校環境がより良い状態になることが期待できる。・親の前向きな気持ちでの対応、学校の安定した対応、これが子どもの安定に繋がり、社会的安定にも繋がると考える。
--	---

<p>事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会等の企画・実施事業を通し、発達障害のある人及びその家族の不安の軽減を目的とし、毎月9回の市内指定公民館にて定例相談座談会を開催し、具体的なニーズへの適宜対応をしていく。 <p style="text-align: center;">《開催日及び開催公民館》</p> <table border="1" data-bbox="541 380 1396 741"> <thead> <tr> <th>毎月</th> <th>火</th> <th>木</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1週</td> <td>岡 輝</td> <td>光南台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>光南台</td> <td>西大寺</td> <td>大 元</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>福 田</td> <td>岡 南</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td></td> <td>一 宮</td> <td>岡 南</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・特別相談会随時 = 協働担当課職員・顧問・相談役参加による相談会 ・各会で得た個人情報の確実な保管。 ・啓発活動の一端として、講演会・特別相談会等々の実施。 ・岡山市の企画事業への協力。 	毎月	火	木	土	第1週	岡 輝	光南台		第2週	光南台	西大寺	大 元	第3週	福 田	岡 南		第4週		一 宮	岡 南
毎月	火	木	土																		
第1週	岡 輝	光南台																			
第2週	光南台	西大寺	大 元																		
第3週	福 田	岡 南																			
第4週		一 宮	岡 南																		
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 人・ふれあい・ひろば 理事長・藤井弥生 2. 個別事業責任者 人・ふれあい・ひろば 理事長・藤井弥生 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者支援センターの専門職員のレクチャーを当会のメンバーが受け、支援技術を磨くことにより、その成果を参加者の皆様に広げることができる。 ・特別相談会に専門家の方に参加して頂くことにより、相談者の安心感は増加する。 ・長期参加者は、ピアカウンセリングの相手ができる程に、親力が成長している。 ・このように、参加当初は受益者から入り、徐々に運営側へと成長していってくれることが当会の相談座談会継続のノウハウでもある。 <ul style="list-style-type: none"> ・主たる社員は以下の経歴を持っている。 藤井 弥生 … 15年間の発達障害に係る相談会実績（元岡山市主任児童委員理事） 書籍『ぼくの場所』出版 山崎久美子 … 岡山県ペアレントメンター（当事者20歳）（ぼかぼか広場ボランティア） 堀越 千恵 … 岡山県ペアレントメンター（当事者16歳） 山本 純子 … 岡山県ペアレントメンター（当事者13歳）（ぼかぼか広場ボランティア） 二井 康則 … 岡山県ペアレントメンター（当事者14歳）（りぼんの会：瀬戸内市） （ひだまりカフェ代表） 																				

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	発達障害等で悩む全ての方に向けた相談座談会等開催事業
-------	----------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体	15,685	前年度繰越金
	自己資金	150,000	
	合同提案団体負担金等	0	
	自己資金等合計(a)		165,685
事業収入見込	年会費	300,000	年会費 6,000×50人
	事業収入	100,000	参加料・入会金等
	講演費	80,000	講演費
	その他	3,820	
事業収入見込合計(b)		483,820	
岡山市補助金申請額(c)		1,674,000	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		2,323,505	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	専任活動者活動費		時間給 850円 月 22日 1日 4.5時間 (7月:9日+8~3月:176日=計 185日)
	活動者(1)	707,625	(1) 個人情報管理・会報作成・IT広報 相談会開催マニュアル作成・Q&A集作成・別枠相談会等チラシ作製配布等
	活動者(2)	707,625	(2) 相談会ネットワーク構築・実活動による相談会への呼びかけ(イベント参加等)・参加当事者の実活動支援(工作等)
	相談会活動費	219,000	1回 3千×月 9回×8ヵ月+1回(7月)
	茶菓子代金	40,000	月 5,000円×8ヵ月
	交通費	109,500	1回 1,500円×9回×8ヵ月+1回(7月)
	通信費	64,000	月 8,000円×8ヵ月
	福利厚生費	12,000	雇用保険代金
	広告宣伝費	150,000	ポスター・チラシ等
	講演費	80,000	講演費
	雑費	233,755	物品購入・消耗品等
事業実施経費合計(d)		2,323,505	
管理運営経費			
管理運営費合計(e)		0	

総事業費 (f) = (d) + (e)	2,323,505	※収入合計 (c) と同額
----------------------------	-----------	-----------------

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること

2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること